



平成28年度国立特別支援教育総合研究所セミナー 参加のご案内

インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進 －21世紀を生きる子どもたちの可能性を最大限に伸ばすためには－

- ◇ 期 日 平成29年2月17日(金)・18日(土)
- ◇ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
- ◇ 定 員 700名
- ◇ 主 催 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所



NISE「子どもとともに」モニュメント

国立特別支援教育総合研究所(NISE)では、研究活動等の成果普及や質の向上、教育関係者や関係機関との情報共有を図るため、毎年、本セミナーを開催しています。また、金・土曜日開催となっております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

本セミナーが、参加された皆様にとって、特別支援教育の推進のための実り多い機会となることを期待しております。

理事長 穴戸 和成

日 程

<1日目> 平成29年2月17日(金) (カルチャー棟：大ホール、小ホール、センター棟：102)

	11:45	12:45	13:30	13:45		16:15	16:30	16:45
	受付	開会式/ 辻村賞 授賞式	休憩		研究成果報告 (第1～第3分科会)	休憩	全体会	閉会

<2日目> 平成29年2月18日(土) (カルチャー棟：大ホール、小ホール、センター棟：102)

9:00	9:30	10:40	10:50	12:10	13:10	14:00	14:10	16:00
受付	講演・対談	休憩	ミニ講座/ 研究所の新しい取組	休憩	ポスター 発表等 各種展示*	休憩	シンポジウム	散会

*ポスターは、2日目の9:00から掲示する予定です。

■セミナーのご案内は本研究所のホームページ (<http://www.nise.go.jp/>) にも掲載しております。

1日目 2月17日(金)

開会式

12:45～13:30

主催者挨拶 穴戸 和成 (国立特別支援教育総合研究所 理事長)
挨拶 丸山 洋司 氏 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長)

第30回辻村賞授賞式

本研究所初代所長辻村泰男氏のご遺徳をたたえ、特別支援教育の領域において特に顕著な功績のあった者、及び団体等を顕彰いたします。

研究成果報告 (第1～第3分科会)

13:45～16:15

第1分科会 アクティブ・ラーニングを通じた資質・能力の育成 —一次期学習指導要領の改訂の動向を踏まえた知的障害教育の展開—

本分科会では、基幹研究「知的障害教育における『育成すべき資質・能力』を踏まえた教育課程の在り方」を通して得られた知見の概要について報告します。また、知的障害教育において育成を目指す資質・能力をはぐくむためのアクティブ・ラーニングの具体的な展開について研究協力機関より実践報告を行い、指定討論者やフロアの皆様とともに協議を行います。

趣旨説明 明官 茂 (国立特別支援教育総合研究所)
研究報告 涌井 恵 (国立特別支援教育総合研究所)
実践報告1 上仮屋祐介 氏 (鹿児島大学教育学部附属特別支援学校)
実践報告2 加藤 公史 氏 (愛媛大学教育学部附属特別支援学校)
実践報告3 浅利 邦子 氏 (千葉県立特別支援学校流山高等学園)
指定討論 丹野 哲也 氏 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
尾崎 祐三 氏 (植草学園大学)
司 会 武富 博文 (国立特別支援教育総合研究所)

第2分科会 自閉症のある子どもの自立活動の授業を組み立てる上での要点 —実態から子どもにつけたい力(目標)を考える—

本分科会では、自閉症・情緒障害特別支援学級と知的障害特別支援学級における自立活動の指導の現状と課題に関する調査結果と、自閉症のある子どもの自立活動の授業を組み立てる上での要点について報告します。また、研究協力機関の小・中学校での実践報告を踏まえて、特別支援学級に在籍する自閉症のある子どもの自立活動の時間における指導の進め方や意義について、皆様とともに協議を行います。

趣旨説明 柳澤亜希子 (国立特別支援教育総合研究所)
研究報告1 西村 崇宏 (国立特別支援教育総合研究所)
研究報告2 柳澤亜希子 (国立特別支援教育総合研究所)
実践報告1 金子 道子 氏 (千葉県我孫子市立我孫子第二小学校)
実践報告2 荒谷 美巴 氏 (広島県坂町立坂中学校)
指定討論 野呂 文行 氏 (筑波大学)
司 会 村井敬太郎 (国立特別支援教育総合研究所)

第3分科会 ことばの教室がインクルーシブ教育システム構築に果たす役割 —言語障害教育の専門性を生かす取組—

本分科会では、基幹研究「『ことばの教室』がインクルーシブ教育システム構築に果たす役割に関する実際的な研究」の研究成果を報告します。また、ことばの教室の専門性維持・向上の取組と、ことばの教室が地域に対して行っている活動について、研究協力機関の実践報告を行います。ことばの教室の担当者が必要と考えている専門性とことばの教室が果たしている役割について、皆様とともに協議を行います。

研究報告1 牧野 泰美 (国立特別支援教育総合研究所)
研究報告2 小林 倫代 (国立特別支援教育総合研究所)
実践報告1 三坂 烈慎 氏 (札幌市立青葉小学校)
実践報告2 高橋 順治 氏 (奈良県生駒市立生駒小学校)
話題提供 庄司美千代 氏 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
司 会 久保山茂樹 (国立特別支援教育総合研究所)

全体会

16:30～16:45

2日目 2月18日(土)

講演及び対談：

「21世紀を生きる子どもたちの可能性を最大限に伸ばすためには」

9:30~10:40

中央教育審議会企画特別部会委員をされている天笠氏より、「育成を目指す資質・能力」や次期学習指導要領改訂等について、教育全体の動向と今後の方向性について論じていただきます。また、対談では、次期学習指導要領改訂における抑えておくべきポイントや、新しい動向をどのように特別支援教育の現場に反映させていくかについて考えます。

講師 天笠 茂氏 (千葉大学特任教授、中央教育審議会教育課程企画特別部会主査代理)
対談者 穴戸 和成 (国立特別支援教育総合研究所 理事長)
司会 明官 茂 (国立特別支援教育総合研究所)

合理的配慮ミニ講座

10:50~11:45

本セッションでは、合理的配慮や基礎的環境整備の定義等、基本的な内容について簡単に説明したあと、学校における合理的配慮の例について、写真などを使いながら、レクチャーします。①幼稚園・保育所等②小学校③中学校④高等学校という学校段階毎に事例を紹介していきます。

①幼稚園・保育所等 久保山茂樹 (国立特別支援教育総合研究所)
②小学校 齊藤由美子 (国立特別支援教育総合研究所)
③中学校 田中 良広 (国立特別支援教育総合研究所)
④高等学校 江田 良市 (国立特別支援教育総合研究所)
司会 笹森 洋樹 (国立特別支援教育総合研究所)

研究所の新しい取組

11:45~12:10

本研究所では学校現場で活用できるWEBコンテンツ（研究成果サマリー、研修コンテンツ、支援教材ポータル、発達障害教育情報センター）を整備して参りました。今年度よりインクルーシブ教育システム推進センターを立ち上げ、地域実践研究等、新しい試みを始めております。また、免許法認定通信教育情報サイトを立ち上げ、特別支援教育にかかる専門性向上のための取り組みを行っております。これらについて、ご紹介いたします。

報告 1 勝野 頼彦 (国立特別支援教育総合研究所)
報告 2 原田 公人 (国立特別支援教育総合研究所)

シンポジウム インクルーシブ教育システム構築におけるインクルDBの活用の意義 14:10~16:00

我が国では、平成26年に障害者の権利に関する条約を批准し、平成28年4月より障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されています。各学校では、障害のある児童生徒の合理的配慮を確保していくことが急務の課題となっています。本研究所では、各学校等で合理的配慮を検討する際に、これを支援することを目的に、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）を構築してきました。平成27年度の実践事例は、特に合意形成のプロセスも記載しており、内容の充実を図っております。本シンポジウムでは、今後のインクルーシブ教育システム構築支援をどのように進めていくか探っていきます。

趣旨説明 藤本 裕人 (国立特別支援教育総合研究所)
報告 1 横尾 俊 (国立特別支援教育総合研究所)
報告 2 藤井 里織氏 (宮崎市立宮崎小学校)
報告 3 仙北谷逸生氏 (北海道教育委員会)
指定討論 柘植 雅義氏 (筑波大学)
青木 隆一氏 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
司会 藤本 裕人 (国立特別支援教育総合研究所)

◇参加申込

(1) 申込要領 **本研究所のホームページ (<http://www.nise.go.jp/>) から、直接お申込みください。**
参加申込を受け付けましたら、後日メールにてお知らせします。
また、本セミナーへの参加に当たり、誘導、手話通訳、車いす等の配慮を必要とする場合は、申込時にその旨をお知らせ願います。
(インターネット環境がない場合などは下記問合せ先までご相談ください。)



(2) 申込期間 **平成28年12月5日(月)～平成29年1月20日(金)**
※12月5日より前の申込は、受け付けいたしませんのでご注意ください。

(3) 定員等 **700名 (先着順)**
※大ホールの定員を超えて受け付ける場合は、小ホールでの映像視聴となります。
申込多数により小ホールでの映像視聴も難しい場合は、**申込期間中であっても申込を締め切りますので予めご了承ください。**
なお、参加に当たって、録音・撮影はできませんので、ご留意願います。

(4) 参加費 **無料**

(5) 宿泊・昼食 **宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。**
また、昼食はセンター内の食堂等をご利用ください。
※ホール内での飲食はできませんが、会場のロビーはご利用いただけます。

(6) 会場 **国立オリンピック記念青少年総合センター**
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL (03) 3469-2525 (代表) FAX (03) 3469-2277



[交通案内]

- 小田急線
参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 京王バス
新宿駅西口(16番)より
代々木5丁目下車
渋谷駅西口(40番)より
代々木5丁目下車
- 地下鉄千代田線
代々木公園駅下車
[代々木公園方面4番出口]
(徒歩約10分)

(7) 問い合わせ先 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
総務部 総務企画課 企画・評価室 企画支援係
〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1
TEL 046-839-6808
FAX 046-839-6919
e-mail seminar@nise.go.jp